

2026 年度 看護師特定行為研修 募集要項



医療法人徳洲会
中部徳洲会病院

1. 特定行為研修の基本理念・目的・目標

【基本理念】

本研修は、チーム医療のキーパーソンである看護師が、患者及び医師及び歯科医師その他医療関係者から期待される役割を十分に担うため、医療安全に配慮しつつ、在宅を含む医療現場において、高度な臨床実践能力を発揮できる人材を育成する。また、特定行為に必要な専門的な知識及び技術を教育し、社会に貢献できる有能な看護師を育成することを理念としています。

【教育目的】

本研修は、地域医療及び在宅医療に貢献できる看護師を養成すべく、本院と地域の病院・施設（訪問看護ステーション含む）などと連携し、「医師が予め作成した手順書によって特定行為を適切に実践できる看護師を育成すること」を目的としています。

【研修目標】

1. 地域医療及び高度医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、当該特定行為を行う上での知識、技術及び態度の基礎的能力を養う。
2. 地域医療及び高度医療の現場において、患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実施できる基礎的能力を養う。
3. 地域医療及び高度医療の現場において、問題解決にむけて、多職種と効果的に協働できる能力を養う。

2. 修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たすこと。

- 1) 共通科目を全て履修し、筆記試験もしくは観察評価に合格すること。
- 2) 修了後、選択した区分別科目を履修し、一部の科目では実技試験に合格すること。

※本研修修了者には、保健師助産師看護師法第 37 条の 2 第 2 項 第 1 号に規定する特定行為及び同項第 4 号に規定する特定行為研修に関する省令に基づき、修了した特定行為区分ごとの修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出する。

3. 実施区分および定員 8名

- (1) 共通科目 最大 8 名
- (2) 区分別科目
 - ① 栄養に係るカテーテル管理 最大 3 名
(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連
 - ② 動脈血液ガス分析関連 最大 3 名
 - ③ 救急領域 (中部徳洲会病院職員のみ) 最大 2 名
(救急領域パッケージ 5 区分 + 感染に係る薬剤投与関連
+ 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 + 循環動態に係る薬剤投与関連)

4. 研修期間と募集時期

区 分	研修期間
栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連	1 年
動脈血液ガス分析関連	1 年
救急領域 (救急領域パッケージ 5 区分 + 感染に係る薬剤投与関連 + 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 + 循環動態に係る薬剤投与関連)	2 年

※研修在籍期間は、最長2年間とする。ただし、救急領域は最長3年とする。

共通科目を修了後に区分別科目を受講開始する。*複数選択可

募集時期: 年1回(6月～)

5. 研修内容と時間数

研修は、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれており、講義、演習または実習によって行われる。

1) 共通科目(必修科目): 特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目(研修期間: 6カ月)

科目	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
臨床病態生理学	29	1	-	1	31
臨床推論	26.5	16	1	1.5	45
フィジカルアセスメント	17.5	8.5	13.5	5.5	45
臨床薬理学	32.5	11.5	-	1	45
疾病・臨床病態概論	37	3	-	1	41
医療安全学/特定行為実践	24.5	14	4.25	2.25	45
合計	167	54	18.75	12.25	252

- * 共通科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する。
- * 演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。その後、科目修了試験に合格する。

2) 区分別科目(必修科目):

各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目(研修期間:6 か月)

特定行為区分		時間数				
		講義	演習	実習	評価	合計
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連		7	—	5 症例	1	8+ 5 症例
動脈血液ガス分析関連		11.5	—	各 5 症例	1.5	13+ 各 5 症例
救急領域	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	8	—	5 症例	1	9+ 5 症例
	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	20.5	6	各 5 症例	2.5	29+ 各 5 症例
	動脈血液ガス分析関連	11.5	—	各 5 症例	1.5	13+ 5 症例
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	9	1	5 症例	1	11+ 5 症例
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	10.5	2	5 症例	1.5	14+ 5 症例
	感染に係る薬剤投与関連	21	6	5 症例	2	29+ 5 症例
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	11	3	5 症例	2	16+ 5 症例
	循環動態に係る薬剤投与関連	18	6.5	各 5 症例	3.5	28+ 各 5 症例

- * 区分別科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する。
- * 演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。
- * 実習(患者に対する実技)は関連する講義・演習(ペーパーシミュレーション)・手技練習(模擬患者の活用、シミュレーターの利用等のシミュレーションによる学習)を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。
- * OSCE のある科目に関しては、実習(患者に対する実技)の前に OSCE に合格する必要がある。

6. 受講モデル

研修の進捗表を参照。

- ① 共通科目を6ヵ月履修後に、選択した区分別科目を履修する。
- ② 一度に受講できる区分は2区分までとする。
- ③ 区分科目の実習は、実習期間のうち1クール(2週間連続)を選択し、所定の症例数に満たない場合は実習を追加する。

●モデル1 (共通科目+区分別科目)※PICC 関連・動脈血ガス関連

月	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
共通科目(6科目)	・e-ラーニング受講 ・演習												
区分別科目							・e-ラーニング受講 ・症例実習						

●モデル2 (共通科目+救急領域)

【1年目】 月	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
共通科目(6科目)	・e-ラーニング受講 ・演習											
区分別科目							・e-ラーニング受講 ・症例実習					

【2年目】 月	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
区分別科目	・e-ラーニング受講 ・症例実習											
区分別科目							・e-ラーニング受講 ・症例実習					

7. 受講資格

次に定める要件に全て満たしていることが必要です。

- ① 日本国の看護師免許を有すること
※原則として看護師の免許取得後、通算5年以上の看護実務経験を有すること。但し、准看護師としての経験は除く
- ② 所属施設の病院長(施設長)もしくは、看護部長の推薦を有すること
- ③ 日本看護協会または徳洲会グループ看護師賠償責任保険等の賠償責任保険に加入していること

- ④ 本研修で開講される講義、演習、実習を当院で受講可能な者
(ただし、現在の勤務を継続しながら受講することも可能な範囲で考慮する)
- ⑤ 研修修了後5年間は当法人にて職務を継続する意志を有すること
(中部徳洲会病院職員のみ)

8. 出願手続き

1) 出願期間: 2026年6月1日(月)～2026年7月31日(金)必着

2) 出願書類

- (1) 受講願書(様式1)
- (2) 履歴書(様式2)
- (3) 看護師免許書(写)(A4サイズで提出して下さい。)
※改姓され、免許書の裏面に登録日が表記されている場合は、両面を
複写し提出
- (4) 志願理由書(様式3)
- (5) 履修免除申請書(様式6)※該当者のみ
- (6) 部署長による推薦書(様式4)
- (7) 念書(様式5)(中部徳洲会病院職員のみ)
- (8) 看護職賠償責任保険(特定行為研修が適応されている保険等)の
加入証明書(写)
※提出の書類の返却は対応せず。

3) 出願書類提出先

中部徳洲会病院 看護部長室

〒901-2393 沖縄県中頭郡北中城村字比嘉801番地

(※封筒表面余白に「特定行為研修出願書類在中」と朱書きすること)

(※中部徳洲会病院職員は部署長にて取りまとめ看護部長室へ提出)

問合せ窓口: 中部徳洲会病院 看護師特定行為研修事務局

担当 副看護部長 比嘉 啓

電話: 098-923-1183(看護部直通)

9. 選考方法・受講決定について

書類選考・面接により行う。選考結果については、2026年8月末に文書にて本人へ
通達する。電話やFAXでの合否の問い合わせ不可。

10. 受講手続きと納付金について

受講手続き詳細については受講決定後ご案内いたします。なお、納付金(消費税込)は、受講手続き終了後、当院から送付する納付書に基づき、振込むこと。

受講手続き期間 2026年9月1日(火)～2026年9月18日(金)

納付金

科目名	受講料	
	院内	院外
共通科目(必修)	300,000円	400,000円
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈カテーテル管理)関連	24,000円	
動脈血液ガス分析関連	39,000円	
救急領域	447,000円	

※院内に関しては原則病院で負担。

※収めた受講料は原則として返還しません。

※研修のための宿泊及び交通費等は各自にて実費負担となります。

●個人情報の取り扱いについて

中部徳洲会病院では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願および受講手続きにあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続きにより開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

募集受講生の今後の日程(目安)

2026年10月1日 入講式・オリエンテーション

2026年10月1日 共通科目受講開始

2027年3月下旬 共通科目修了判定

2027年3月下旬 区分別科目演習・実習開始

2027年8月下旬 区分別科目修了判定・修了式(PICC 関連・動脈血ガス関連)

2028年8月下旬 区分別科目修了判定・修了式(救急領域)